

復興に役立つ活動を進める

堺理事長・年頭
インタビュー

東北支援や未来館の新規事業、お買い物サポーターにどう臨むのか。年頭にあって堺理事長に抱負を聞きました。＝写真は開校20周年式典で感謝状をもらう堺理事長

――第5次東北支援について

堺 東日本大震災の復興は、ようやく地に足がつき始めた感があります。私たちも、この3年間に築いた現地との繋がりを大切して必要な所へ、必要な支援を継続していこうと考えています。

――具体的には？

堺 東北プロジェクトチームで具体策を急ぎます。訪問先は仙台市・女川町・名取市などで、仙台豊齢学園とも一緒に行う予定です。神戸市社協、市民福祉振興協会、KSCとの連携も継続します。資金はサポート募金や助成金を申請する予定です。

――助成金がダメな場合もありますね。

堺 規模や内容を変更してもやりたいですね。無理をせず、やれる範囲でおこないます。そのためにも、皆さまに引き続き「サポート募金」をお願いしたい。募金は24年度67万714円、25年度56万771円（12月末）となっており、7、8人なら派遣できる金額です。



環境未来館の運営を刷新

――環境未来館の運営ここ数年、厳しそうですが。堺 エコちゃれゼミを受託したり、集客方法を考えたりして、1万人程度の入館者の5割アップをめざします。従来のイベントに加えて、企画展や親子での学習教室も検討し、部会・区会にも会議室（無料）の利用を呼びかけたい。

――エコちゃれゼミは結果まちですね

堺 そうです。昨年は惜しくも他の団体に決まりましたが、今年はプランを練って、プレゼンに臨みました。自然環境・省エネ・再生エネルギーなどを重点にしたプランで1月下旬には結果が出ます。「エコちゃれゼミ」は、作業量が多いため本部事業として取り組む必要があり、担当理事をおいて対応します。

お買いものサポーター

――試行中のお買いものサポーターは？

堺 名谷の「須磨パティオ」から提案があり、〈わ〉で引き受けることにしました。昨年11月からテスト的に実施していますが、改善を加えて地域の皆さまに喜んでいただける制度にしたいと思っています。昨年の漢字は「輪」でした。「わ」の心を大切に、もっとボランティアの輪が広がる1年にしたいですね。（聞き手・井口久美子）

完走記念に東北カンパ

神戸マラソン（11月17日）に出場、6時間21分で完走した70歳の山下博邦さん（健福17）。「記念にもらったメダル・シャツ・タオルを売って東北支援に役立てたい」と忘年会の席で話したところ、仲間20人が感激。「それは記念にしまっておけ。代わりに皆でカンパする」とその場で一決、帽子を回したそうです。集まったお金は1万6272円。幹事の天野征一郎さんと山下さん、伊谷正弘さんの3人が12月11日、〈わ〉の事務所に届けてくれました。

山下さんはこれまでマラソンに出場申込みを2回していますが抽選で外れ、今回やっと念願になって神戸路を走ることができたそうです。「大勢の仲間の応援で気持ちよく走れた。思いがけぬカンパ募金にも感謝している」と興奮気味でした。忘年会はびかぴか隊・花の会・グラウンドゴルフの

有志が12月4日に県民会館で開いたもので、メンバーは毎年、びかぴか隊として神戸マラソンの沿道整理のボランティアに参加しています。

Xマスの学用品ありがとう

10月に開催した震災シンポジウムの物産販売の純益で、女川と名取の小学校、児童センター、保育所など7か所に文具セットのXマスプレゼントを送ったところ、「ありがとうございました。大切に使います」と女川小、六郷児童館、増田保育所の子どもたちからお礼のメッセージが届きました（12月20日現在）。

●サポート募金のご報告

（10月12日～12月20日）震災シンポでのストラップ売り上げ（北村緑朗・国17）5,900円、東北物産展売り上げ6万350円、募金箱分1,781円、平野春幸（生18）1,600円、学園祭実行委員会5万円、健福17期有志1万6272円、北区会5千円＝計14万903円。

〈ご協力ありがとうございました〉